

事務事業名	道路維持修繕事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	街づくり施設部	道路管理課	維持補修係	飯田 康夫

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち			
	個別目標	快適な都市の基盤を充実する			
	めざす成果	道路や公園を快適に利用している			
根拠法令	名 称	道路法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和34年度				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
市が管理する道路施設 総延長 564km、橋梁91橋、舗装延長501km		4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
	事業費	787,582	957,005	1,027,264
	人件費	85,013	81,720	98,307
目 的	総事業費	872,595	1,038,725	1,125,571
舗装、橋梁などの道路施設の維持・修繕を効率的に進めることにより、健全性及び安全性を維持して円滑な交通を確保します。 手段、手法【実施手法：直営】 道路施設の点検結果に基づく計画的修繕に加え、市民からの通報、日常点検等により発見した不具合箇所について、補修、修繕、清掃等を行います。実施に当たっては、軽微なものや応急対応は直営で行い、直営で対応できないものは業者に発注します。	6年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金	44,900	
		県支出金	0	
		市債	702,000	
		その他	0	
		一般財源	280,364	
		合 計	1,027,264	

3. 活動内容

活動指標1	名称	道路施設補修等の受付件数			単位	件
	内容説明	市民要望及び道路パトロール件数				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定	2,400	2,400	2,400	
		実 績	2,869	2,607	―――	
活動指標2	名称	道路施設の補修件数（直営以外）			単位	件
	内容説明	道路施設補修工事の発注件数				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定	130	110	110	
		実 績	103	92	―――	
活動指標3	名称	道路施設の補修件数（直営）			単位	件
	内容説明	直営により道路施設の補修等を行った件数				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定	1,200	1,200	1,200	
		実 績	1,483	1,267	―――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定				
		実 績			―――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	3年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	4年度	Ⅰ：現状のまま継続	5年度	Ⅰ：現状のまま継続
	横断歩道橋の長寿命化修繕計画を策定しました。今後、計画に基づき横断歩道協の維持管理を進めます。また、策定した計画の見直しを随時行います。					

5. 評価結果					
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。	
	3年度	4年度	5年度	A：市が関与する必要性が高い。	
	A	A	A	道路法16条により、市道の管理は市と定められています。	
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。	
	3年度	4年度	5年度	B：成果を上げる余地が一部ある。	
	B	B	B	施設の定期的な点検及び補修計画の策定・見直しを行い、より効果的な維持修繕が出来るよう努めています。	
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。	
	3年度	4年度	5年度	A：経費は適正な水準である。	
	A	A	A	国庫補助金等の活用、コスト縮減に努めており、経費は適正な水準です。	
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。	
	3年度	4年度	5年度	A：受益・負担は適正である。	
	A	A	A	道路法第49条により、道路に関する費用は管理者の負担と定められています。	
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。	
	3年度	4年度	5年度	A：社会的配慮を十分に行っている。	
	A	A	A	アダプト制度による市民活動の清掃、工事等のお知らせ、段差解消のバリアフリー対応、円滑な交通確保による環境負荷の軽減に取り組んでいます。	

事務事業名	未登記道路整備事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	街づくり施設部	道路管理課	管理係	飯田 康夫

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち			
	個別目標	快適な都市の基盤を充実する			
	めざす成果	道路や公園を快適に利用している			
根拠法令	名 称	道路法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	平成05年度				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
市民		4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
	事業費	330	0	373
	人件費	1,638	2,293	1,652
目 的	総事業費	1,968	2,293	2,025
市道の適正な財産管理を行います。 手段、手法【実施手法：直営・委託】 土地権利者の理解協力を得ながら、寄付等により道路用地の所有権移転を行います。	6年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		373
		合 計		373
	3. 活動内容			
	活動指標1	名称	測量筆数	単位 筆
		内容説明	道路用地の測量	
		指標値	4年度	5年度（当該年度）
			予 定	0
			実 績	0
成 果（効果・予測） 市が所有権を取得することにより、適正な財産管理がなされた市道供用となります。	活動指標2	名称	処理筆数	単位 筆
		内容説明	未登記道路用地の所有権移転筆数	
		指標値	4年度	5年度（当該年度）
			予 定	5
			実 績	0
	活動指標3	名称	処理面積	単位 ㎡
		内容説明	未登記道路用地の所有権移転面積	
		指標値	4年度	5年度（当該年度）
			予 定	50
			実 績	0
課 題 未登記道路は、供用後かなりの歳月がたっており、相続や所有権移転等に伴い、現土地所有者の理解を得ることが困難な状況も多々あり、交渉に時間を要しています。現在、71件の未登記道路が未処理となっています。	活動指標4	名称		単位
		内容説明		
		指標値	4年度	5年度（当該年度）
			予 定	10
			実 績	31.17
	活動指標5	名称		単位
		内容説明		
		指標値	4年度	5年度（当該年度）
			予 定	
			実 績	

4. 今後の方針等

今後の方針等	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続
	引続き、土地所有者と協議を重ね理解を得られるよう丁寧に対応し、着実に事業を進めます。					

事務事業名	狭あい道路用地取得事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	街づくり施設課	道路管理課	管理係	飯田 康夫

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	快適な都市の基盤を充実する		
	めざす成果	道路や公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称	建築基準法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	昭和63年度			設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
市民		4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
	事業費	4,228	2,484	6,005
	人件費	2,979	4,750	3,755
目 的	総事業費	7,207	7,234	9,760
恒久的に市道の幅員を確保し、通行の機能の向上を図ります。	6年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金	2,500	
手段、手法【実施手法：直営】		県支出金	0	
		市債	0	
		その他	0	
		一般財源	3,505	
		合 計	6,005	
・「大和市建築行為に係る狭あい道路整備要領」に基づく申請者からの申出（寄付又は無償使用）により、後退道路用地を取得し、市道幅員4mを確保します。	活動指標1	名称	申請件数	単位 件
		内容説明	用地の寄付・自主管理等の協議申請件数	
		指標値	4年度	5年度（当該年度）
			予 定	20
			実 績	18
・平成21年3月31日までに受理した買取申請未処理案件については「大和市建築行為に係る狭あい道路整備要綱」に基づき買取を行います。	活動指標2	名称	用地取得件数	単位 件
		内容説明	用地を買取・寄付により取得した件数	
		指標値	4年度	5年度（当該年度）
			予 定	20
			実 績	14
・後退道路用地内に支障物件（樹木・ブロック塀等）がある場合は、支障物件の移転費用の一部の補償を基準により行います。	活動指標3	名称	用地取得面積	単位 m ²
		内容説明	用地を買取・寄付により取得した面積	
		指標値	4年度	5年度（当該年度）
			予 定	100
			実 績	136
成 果（効果・予測）	活動指標4	名称	物件補償件数	単位 件
		内容説明	物件補償を行った件数	
		指標値	4年度	5年度（当該年度）
			予 定	3
			実 績	0
課 題		3年度	I：現状のまま継続	4年度
		I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続
		引き続き、「大和市建築行為に係る狭あい道路整備要領」に基づき申請者からの申出（寄付又は無償使用）により、後退道路用地を取得し、市道幅員4mを確保します。		

4. 今後の方針等

今後の方針等	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続
	引き続き、「大和市建築行為に係る狭あい道路整備要領」に基づき申請者からの申出（寄付又は無償使用）により、後退道路用地を取得し、市道幅員4mを確保します。					

事務事業名	私有道路用地取得事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	街づくり施設部	道路管理課	管理係	飯田 康夫

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	快適な都市の基盤を充実する		
	めざす成果	道路や公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称	私有道路移管に関する取扱要領		
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	昭和51年度			設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
・市民		4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
	事業費	1,350	352	677
	人件費	3,724	5,059	3,755
目 的	総事業費	5,074	5,411	4,432
私有道路の用地取得により、交通の利便性と安全性の向上を図ります。	6年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：直営・委託】 ・私道所有者からの道路寄付申請に基づき、書類審査・現地調査を行い令和3年度に改正された『私有道路移管に関する取扱要領』による基準に適合する私道について、測量の実施、所有権移転登記などを行います。		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		677
		合 計		677

3. 活動内容

活動指標1	名称	申請件数			単位	件
	内容説明	私有道路用地寄付申請書の受理件数				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定	3	1	1	
		実 績	0	0	――	
活動指標2	名称	移管完了件数			単位	件
	内容説明	道路用地の登記完了件数				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定	4	1	1	
		実 績	3	1	――	
活動指標3	名称	物件補償件数			単位	件
	内容説明	突出物件の除却補償				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定	6	5	5	
		実 績	1	0	――	
活動指標4	名称	測量件数			単位	件
	内容説明	市に移管予定の私道の測量件数				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定	1	1	0	
		実 績	1	0	――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続
	引続き、改正前に受け付けた道路寄付申請については、基準に適合する私道について、測量の実施、支障物件の除却、所有権移転登記を行います。 また、改正後の道路寄付申請については、新基準に適合する私道について、測量の実施、所有権移転登記のみを行います。					

事務事業名	道路台帳等管理事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	街づくり施設部	道路管理課	管理係	飯田 康夫

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	基本目標		まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標		快適な都市の基盤を充実する		
	めざす成果		道路や公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称	道路法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和34年度				設定無し

2. 事務事業の概要						
対 象		総事業費 (単位：千円)				
市民			4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）	
		事業費	66,330	52,269	87,753	
		人件費	6,181	6,587	7,285	
目 的		総事業費	72,511	58,856	95,038	
適切な道路及び法定外公共物の維持管理を図ります。		6年度事業費（予算額）財源内訳				
		国支出金		0		
		県支出金		0		
		市債		0		
		その他		12,592		
		一般財源		75,161		
		合 計		87,753		
手段、手法【実施手法：委託】		3. 活動内容				
活動指標 1	名称	道路台帳平面図等の修正面積			単位	㎡
	内容説明	年間道路台帳平面図等の修正面積				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定	7,000	7,000	7,000	
	実 績	7,300	5,590	――		
活動指標 2	名称	道路境界杭等の埋石、復元本数			単位	本
	内容説明	年間道路境界杭等の埋石、復元本数				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定	600	600	600	
	実 績	574	611	――		
活動指標 3	名称	市道認定、廃止、変更路線数			単位	路線
	内容説明	年間市道認定、廃止、変更路線数				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定	100	80	70	
	実 績	70	64	――		
活動指標 4	名称	道路境界承認及び幅員証明数			単位	件
	内容説明	年間道路境界承認及び幅員証明数				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定	150	180	200	
	実 績	201	203	――		

成果（効果・予測）	
・道路法に基づく道路台帳整備を行い管理することで、適切な道路機能の維持管理が図られます。	
・道路工事などにより損傷した基準点、境界点の復元作業を行うことにより、市道と敷地の境界を明確にすることができます。	

課 題	
道路施設を適正に維持管理するために、道路施設の長寿命化計画の策定に向け、道路台帳のあり方について見直す必要があります。	

4. 今後の方針等						
今後の方針等	3年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	4年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	5年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	令和5、6年度にかけ、道路台帳の電子化を進めます。 道路台帳の電子化に伴い、既存成果の精査を行い、今後進めていく各種台帳の電子化及び連携について検討を行います。					

事務事業名	道路占用の許認可事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	街づくり施設部	道路管理課	許認可係	飯田 康夫

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	基本目標		まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標		快適な都市の基盤を充実する		
	めざす成果		道路や公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称	道路法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和34年度				設定無し

2. 事務事業の概要						
対 象		総事業費 (単位：千円)				
市民			4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）	
		事業費	4, 474	2, 225	2, 417	
		人件費	16, 027	15, 884	17, 166	
目 的		総事業費	20, 501	18, 109	19, 583	
法令に基づく許認可事務や指導を行い、市が管理する道路、法定外公共物を適正に管理し、機能を保全・確保します。 手段、手法【実施手法：直営】 下記の各申請に基づき、申請者と協議・調整を行い、行為に対して許可・承認します。 ・道路占用者への許可・協議・承認事務 ・法定外公共物占用許可事務 ・道路交通法に関する警察との事前協議 ・道路占用料、監督事務費の賦課・徴収及び法定外公共物占用の賦課事務 ・行政財産の目的外使用調整及び賦課事務		6年度事業費（予算額）財源内訳				
		国支出金		0		
		県支出金		0		
		市債		0		
		その他		2, 417		
		一般財源		0		
		合 計		2, 417		
3. 活動内容						
活動指標 1	名称	占用申請処理件数			単位	件数
	内容説明	占用者からの申請書事務処理				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定	2, 000	2, 000	1, 800	
		実 績	1, 501	1, 348	－ － －	
活動指標 2	名称	貫入検査及び自費施工検査の件数			単位	件数
	内容説明	道路掘削部分の復旧、及び申請どおりの完成を確認する検査				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定	20	20	30	
		実 績	19	40	－ － －	
活動指標 3	名称	警察への事前協議件数			単位	件数
	内容説明	工事に伴う通行の事前協議				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定	30	30	70	
		実 績	89	58	－ － －	
活動指標 4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定				
		実 績			－ － －	
課 題		道路空間は、一般の交通の用に供するだけでなく、水道、電気、ガスなどのライフラインの収容空間としても重要な役割を果たしています。道路占用の運用は、限られた道路空間を一層効率的かつ有効に利用することが求められ、占用業務はさらに複雑化・多様化しています。				

4. 今後の方針等						
今後の方針等	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続
	道路法に関する条例及び大和市法定外公共物管理条例に基づき、適正に事務を進め道路・法定外公共物の安全確保に努めてまいります。また、占用料の適正化を図るために、国や県及び近隣市町村の動向を注視していくとともに、適切な許認可業務を行ってまいります。					

事務事業名	不法占用の巡視及び撤去・改善・指導事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	街づくり施設部	道路管理課	許認可係	飯田 康夫

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	基本目標		まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標		快適な都市の基盤を充実する		
	めざす成果		道路や公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称	道路法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和34年度				設定無し

2. 事務事業の概要							
対 象		総事業費 (単位：千円)					
市民			4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）		
		事業費	2,290	2,220	2,447		
		人件費	13,217	13,018	14,785		
目 的		総事業費	15,507	15,238	17,232		
不法占用の巡視及び撤去を行い、市が管理する道路、法定外公共物を適正に管理し、機能を保全・確保します。		6年度事業費（予算額）財源内訳					
		国支出金		0			
		県支出金		0			
		市債		0			
		その他		0			
		一般財源		2,447			
		合 計		2,447			
手段、手法【実施手法：直営・委託】		3. 活動内容					
成果（効果・予測）	・ 巡視パトロールを行い、不法投棄物、放置車両、放置自動二輪車、捨て看板の撤去・法的処分を行います。 また、不法投棄を発見した時は、指導を行います。 ・ 突出看板の適正化を行います。 ・ 不法に掲出された屋外広告物の簡易除却を行います。	活動指標 1	名称	放置車両の早期発見及び撤去処理		単位	台
		内容説明	廃物認定後の撤去処理件数				
		指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
			予 定	1	1	1	
			実 績	0	0	— — —	
課 題	不法放置物件および屋外広告物の是正指導により、道路・河川等の機能の確保が図られます。	活動指標 2	名称	違法看板の是正指導・撤去処理		単位	枚
		内容説明	撤去処理件数				
		指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
			予 定	20	40	40	
			実 績	48	52	— — —	
	恒常的に撤去・処分作業を実施していますが、繰り返し放置車両や看板等、様々な物が道路へ投棄されていることが課題です。 敷地内のゴミを隣接する道路に投棄する事例が多く見られます。また、不法に占用されている道路等を適切に指導・処理する手法が必要です。	活動指標 3	名称	不法投棄の是正指導及び撤去処理		単位	件
		内容説明	撤去処理件数				
		指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
			予 定	300	300	250	
			実 績	282	228	— — —	
		活動指標 4	名称			単位	
		内容説明					
		指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
			予 定				
			実 績			— — —	

4. 今後の方針等					
今後の方針等	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続	5年度 I：現状のまま継続
	引き続き巡視パトロールを行い、不法占用・不法投棄の減少に努めるとともに、警察や関係部署と協力して不法占用者に対して、不法占用物の移動撤去の指導を粘り強く行ってまいります。				

事務事業名	法定外公共物台帳等管理事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	街づくり施設部	道路管理課	管理係	飯田 康夫

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち			
	個別目標	快適な都市の基盤を充実する			
	めざす成果	道路や公園を快適に利用している			
根拠法令	名 称	国有財産法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	平成12年度		令和05年度		24年

2. 事務事業の概要						
対 象		総事業費 (単位：千円)				
市民			4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）	
		事業費	0	0	0	
		人件費	2,160	2,143	0	
目 的		総事業費	2,160	2,143	0	
法定外公共物の財産管理をするため、譲与を受けるとともにそれらの台帳を整理します。		6年度事業費（予算額）財源内訳				
			国支出金		0	
			県支出金		0	
			市債		0	
			その他		0	
			一般財源		0	
			合 計		0	
		3. 活動内容				
活動指標 1	名称	水路台帳作成			単位	m
	内容説明	作成延長				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定	100	100	0	
		実 績	0	0	— — —	
活動指標 2	名称	国有財産譲与申請			単位	件
	内容説明	国有財産（道路及び法定外公共物）譲与の申請件数				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定	2	2	0	
		実 績	0	0	— — —	
活動指標 3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定				
		実 績			— — —	
活動指標 4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定				
		実 績			— — —	
成 果（効果・予測）						
法定外公共物の台帳を整備することで、適正な管理保全ができます。						
課 題						
譲与された法定外公共物については、利用目的、利用形態により適正に維持管理を行う必要があります。						

4. 今後の方針等					
今後の方針等	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続	5年度 Ⅲ：廃止または終了
	近年、法定外公共物の譲与相談等が無いことから、令和6年度より道路台帳等管理事務に統合し、本事業を継続していきます。				

事務事業名	法定外公共物の維持管理事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	街づくり施設部	道路管理課	維持補修係	飯田 康夫

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	快適な都市の基盤を充実する		
	めざす成果	道路や公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	
	昭和43年度	令和05年度	56年	

2. 事務事業の概要								
対 象		総事業費 (単位：千円)						
市民			4年度（決算額）		5年度（決算額）		6年度（予算額）	
		事業費	736		2,567		0	
		人件費	12,473		12,351		0	
目 的		総事業費	13,209		14,918		0	
法定外公共物の機能確保と周辺環境の保全を行います。		6年度事業費（予算額）財源内訳						
手段、手法【実施手法：直営】 法定外公共物の施設の不具合箇所について、補修や防護を行います。 また、施設の機能を確保するため、定期的に清掃、浚渫などを行います。			国支出金				0	
			県支出金				0	
			市債				0	
			その他				0	
			一般財源				0	
			合 計				0	
3. 活動内容								
活動指標 1	名称	水路の清掃					単位	m
	内容説明	清掃延長						
	指標値		4年度		5年度（当該年度）		6年度	
		予 定	152		158		0	
		実 績	0		13		――	
活動指標 2	名称	水路用地保全面積					単位	㎡
	内容説明	草刈面積						
	指標値		4年度		5年度（当該年度）		6年度	
		予 定	1,183		1,246		0	
		実 績	1,262		1,722		――	
活動指標 3	名称						単位	
	内容説明							
	指標値		4年度		5年度（当該年度）		6年度	
		予 定						
		実 績					――	
活動指標 4	名称						単位	
	内容説明							
	指標値		4年度		5年度（当該年度）		6年度	
		予 定						
		実 績					――	
課 題		昨今、突発的な自然災害が頻発しており、災害時に施設機能の不全等が生じています。しかし、予測が困難なことから、日頃から細やかな点検を行い、不具合箇所の早期発見に努める等、災害に備えておく必要があります。						

4. 今後の方針等					
今後の方針等	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続	5年度 Ⅲ：廃止または終了
	令和6年度に道路維持修繕事業へ統合することから、本事業は終了となります。				

16907
一般会計

1. 位置づけ・事務事業の期間			
総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち	
	個別目標	快適な都市の基盤を充実する	
	めざす成果	道路や公園を快適に利用している	
根拠法令	名 称	都市計画法・建築基準法・道路法	
当該事業の法令等による義務付けの有無		有	
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間
			設定無し

対 象		総事業費		(単位：千円)		
市民			4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）	
		事業費	0	0	0	
		人件費	4,468	3,888	4,506	
目 的		総事業費	4,468	3,888	4,506	
開発行為などについて法令やその基準規則に適合させ、地域の交通の利便性の向上を図ります。		6年度事業費（予算額）財源内訳				
		国支出金		0		
		県支出金		0		
		市債		0		
		その他		0		
		一般財源		0		
		合 計		0		
3. 活動内容						
活動指標1	名称	指導調整した件数			単位	件
	内容説明	目標値は新年度実数				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定	56	57	55	
		実 績	57	55	— — —	
活動指標2	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定				
		実 績			— — —	
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定				
		実 績			— — —	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定				
		実 績			— — —	
課 題						
開発事業の指導において、開発業者の事業のコスト面で制約があることから、企画段階における開発事業者との道路整備の十分な事前協議が必要です。						

今後の方針等	3年度	I : 現状のまま継続	4年度	I : 現状のまま継続	5年度	I : 現状のまま継続
	今後も条例に基づき適正な指導、助言を行い、道路環境の充実、地域生活環境の向上、行政サービスの向上に努めます。					

事務事業名	車両制限令に基づく許認可事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	街づくり施設部	道路管理課	許認可係	飯田 康夫

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標		まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち			
	個別目標		快適な都市の基盤を充実する			
	めざす成果		道路や公園を快適に利用している			
根拠法令	名 称	道路法・道路交通法				
		車両制限令				
当該事業の法令等による義務付けの有無		有				
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間	
					設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
市民		4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
	事業費	0	0	0
	人件費	6,330	7,886	7,886
目 的	総事業費	6,330	7,886	7,886
車両制限令に関わる車両と一般の車両の安全な運行を図ることにより、道路構造物の保全を行います。	6年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		0
		合 計		0
手段、手法【実施手法：直営】				
・特殊車両の通行許可申請を受け、道路幅員・道路橋等を審査し、許可若しくは不許可の回答を行います。				
・道路情報便覧システムに特殊車両が通行可能な道路を				

収録します。

3. 活動内容							
	活動指標1	名称	特殊車両通行許可協議処理件数			単位	件数
		内容説明	特殊車両通行許可協議の回答処理				
		指標値	4年度		5年度（当該年度）		6年度
			予 定	400	400	400	
			実 績	385	582	— — —	
成 果（効果・予測）							
道路の保全及び交通の危険防止が図られます。							
課 題	活動指標2	名称				単位	
		内容説明					
		指標値	4年度		5年度（当該年度）		6年度
			予 定				
			実 績			— — —	
	活動指標3	名称				単位	
		内容説明					
		指標値	4年度		5年度（当該年度）		6年度
			予 定				
			実 績			— — —	
活動指標4	名称				単位		
	内容説明						
	指標値	4年度		5年度（当該年度）		6年度	
		予 定					
		実 績			— — —		
道路情報便覧システムの収録道路を増やし、特殊車両の申請者の利便性を高めるため、システムの収録を進める必要があります。							

4. 今後の方針等

今後の方針等	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続
	申請に基づき適正な処理を継続します。					

事務事業名	都市再生街区基本調査成果管理事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	街づくり施設部	道路管理課	管理係	飯田 康夫

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標		まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち	
	個別目標		快適な都市の基盤を充実する	
	めざす成果		道路や公園を快適に利用している	
根拠法令	名 称	国土調査法、測量法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
				設定無し

2. 事務事業の概要						
対 象		総事業費 (単位：千円)				
市民			4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）	
		事業費	0	0	0	
		人件費	2,681	1,710	2,328	
目 的		総事業費	2,681	1,710	2,328	
都市再生街区基本調査で設置された公共基準点の管理、保全を図ります。		6年度事業費（予算額）財源内訳				
手段、手法【実施手法：直営】 大和市公共基準点管理保全要領に基づき都市再生街区基本調査で設置された公共基準点の管理をします。		国支出金		0		
		県支出金		0		
		市債		0		
		その他		0		
		一般財源		0		
		合 計		0		
3. 活動内容						
活動指標 1	名称	公共基準点付近での工事施工届出書			単位	件
	内容説明		年間公共基準点付近での工事施工届出書			
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定	15	20	20	
		実 績	21	19	――	
活動指標 2	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定				
		実 績			――	
活動指標 3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定				
		実 績			――	
活動指標 4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定				
		実 績			――	
課 題						
報告されていない工事等によって、亡失された基準点を把握し復元することが困難です。						

4. 今後の方針等					
今後の方針等	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続	5年度 I：現状のまま継続
	現地調査を行い、調査成果の管理を適正に行っていきます。				

事務事業名	地籍調査事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	街づくり施設部	道路管理課	管理係	飯田 康夫

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標		まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち	
	個別目標		快適な都市の基盤を充実する	
	めざす成果		道路や公園を快適に利用している	
根拠法令	名 称	国土調査法		
		測量法		
		不動産登記法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
				設定無し

2. 事務事業の概要								
対 象		総事業費 (単位：千円)						
市民			4年度（決算額）		5年度（決算額）		6年度（予算額）	
		事業費	7,644		7,421		8,611	
		人件費	4,096		3,976		4,882	
目 的		総事業費	11,740		11,397		13,493	
国土調査法に基づき、地籍の明確化を図ります。		6年度事業費（予算額）財源内訳						
			国支出金		0			
			県支出金		4,650			
			市債		0			
			その他		0			
			一般財源		3,961			
			合 計		8,611			
3. 活動内容								
活動指標 1	名称	地籍調査の面積					単位	k m ²
	内容説明	年間地籍調査の面積						
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度			
		予 定	0.04	0.04	0.02			
		実 績	0.04	0.04	— — —			
活動指標 2	名称						単位	
	内容説明							
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度			
		予 定						
		実 績			— — —			
活動指標 3	名称						単位	
	内容説明							
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度			
		予 定						
		実 績			— — —			
活動指標 4	名称						単位	
	内容説明							
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度			
		予 定						
		実 績			— — —			
課 題								
・一筆ごとの地籍調査に向けた街区境界調査を計画的に実施する必要があります。								
・公共基準点や道路境界点の管理保全に努める必要があります。								

4. 今後の方針等					
今後の方針等	3年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	4年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	5年度
	Ⅱ：見直しのうえで継続 令和5年度地籍調査等補助金についても、一部不交付であったことから事業進捗に更なる遅れが生じたため、年次計画を見直す必要があります。				

事務事業名	道路ストック修繕計画策定事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	街づくり施設部	道路管理課	維持補修係	飯田 康夫

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち			
	個別目標	快適な都市の基盤を充実する			
	めざす成果	道路や公園を快適に利用している			
根拠法令	名 称	道路法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	平成28年度				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費				(単位：千円)	
市民		4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）		
	事業費	88,913	54,661	63,191		
	人件費	11,171	10,890	14,269		
目 的	総事業費	100,084	65,551	77,460		
効率的な道路管理を行うため、道路ストック修繕計画を策定します。	6年度事業費（予算額）財源内訳					
		国支出金	5,500			
		県支出金	0			
		市債	0			
		その他	0			
		一般財源	57,691			
		合 計	63,191			
手段、手法【実施手法：直営】	3. 活動内容					
・道路法に関する省令に基づき、道路施設の定期点検を行います。 ・点検結果を基に、各道路施設について、修繕計画を策定します。 ・PDCAサイクルに沿って、計画を運用します。	活動指標1	名称	橋梁点検数	単位	橋	
		内容説明	道路法施行規則に基づく近接目視点検実施橋梁数			
		指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
			予 定	15	65	0
			実 績	15	65	――
成 果（効果・予測）	活動指標2	名称	道路構造物点検数	単位	箇所	
持続可能な維持管理体制を構築することにより、道路ストックの安全性、快適性を恒久的に維持することができます。		内容説明	道路法施行規則に基づく点検実施施設数（その他施設）			
		指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
			予 定	4	676	0
			実 績	4	676	――
課 題	活動指標3	名称		単位		
		内容説明				
		指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
			予 定			
			実 績			――
点検計画に沿って効率的に定期点検を進めるため、関係機関との事前協議を密接に行っていく必要があります。	活動指標4	名称		単位		
		内容説明				
		指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
			予 定			
			実 績			――

4. 今後の方針等

今後の方針等	3年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	4年度	Ⅰ：現状のまま継続	5年度	Ⅰ：現状のまま継続
	法令に基づき5年に一度点検を実施し、道路施設を効率的に修繕できるよう計画を策定します。 PDCAサイクルに沿って計画を運用し、適切な維持管理を行います。					

事務事業名	道路施設等固定資産台帳整備事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	街づくり施設部	道路管理課	管理係	飯田 康夫

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち			
	個別目標	快適な都市の基盤を充実する			
	めざす成果	道路や公園を快適に利用している			
根拠法令	名 称				
当該事業の法令等による義務付けの有無		無			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
					設定無し

2. 事務事業の概要								
対 象		総事業費 (単位：千円)						
市民			4年度（決算額）		5年度（決算額）		6年度（予算額）	
		事業費	0		0		0	
		人件費	74		133		75	
目 的		総事業費	74		133		75	
道路施設等の適切な財産管理及び有効活用を図ります。		6年度事業費（予算額）財源内訳						
		国支出金				0		
手段、手法【実施手法：直営】 大和市道を路線及び施設ごとに取得原価等を算出し減価償却を考慮した上で道路施設等の資産確定を行います。		県支出金				0		
		市債				0		
		その他				0		
		一般財源				0		
		合 計						0
3. 活動内容								
活動指標 1	名称	道路施設等財産資産台帳更新					単位	km
	内容説明	道路施設等財産資産台帳更新延長						
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度			
		予 定	560	560	560			
		実 績	560	560	— — —			
活動指標 2	名称						単位	
	内容説明							
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度			
		予 定						
		実 績			— — —			
活動指標 3	名称						単位	
	内容説明							
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度			
		予 定						
		実 績			— — —			
活動指標 4	名称						単位	
	内容説明							
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度			
		予 定						
		実 績			— — —			
課 題								
「固定資産台帳」の基となる道路施設等財産台帳の作成及び運用方針を運用マニュアルにて定めており、次年度以降から道路施設等財産台帳の更新を確実に行っていく必要があります。								

4. 今後の方針等					
今後の方針等	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続	5年度 I：現状のまま継続
	道路施設等財産台帳を更新する業務を行います。				